

兵庫県内他市町の事例

○加古川市

令和元年 8 月 「加古川市立小学校・中学校学校規模適正化及び適正配置に関する基本方針」策定

- ・平成 29 年から方針策定に向け事務及び協議会を開始
- ・2 回の地域協働推進部会と 3 回の地域とともにある学校づくり協議会を開催
- ・基本方針（案）策定後、パブリックコメントを実施し市民に広く意見を募集
- ・方針作成に業者は入れず自調及び協議会の意見を基に自ら制作

⇒中学校区を生活圏として地域コミュニティが形成されているため、原則、中学校区を残して統廃合を検討。

令和 2 年 10 月に「両荘地区小中一貫校基本構想」を策定し、この実態を見つつ他地区でも検討開始。

○三木市

令和元年 10 月 「学校再編に関する実施方針」策定（令和 3 年までに 2 回改定）

- ・平成 29 年から方針策定に向け検討会議を開催
- ・2 回の三木市学校環境のあり方検討会議と 7 回の三木市学校再編検討会議を開催
- ・検討会議からの提言書を受け、実施方針を策定
- ・方針作成に業者は入れず自調及び検討会議の意見を基に自ら制作

⇒現在の 8 中学校区から 5 地区に学区再編した施設一体型小中一貫教育を取り入れる。

一部で小規模特認校制度の導入を検討。

○多可町

平成 24 年 4 月 「多可町小中学校規模適正化基本方針」策定

- ・平成 22 年から方針策定に向け検討委員会を設置
- ・5 回の多可町学校規模適正化検討委員会を開催
- ・方針作成に業者は入れず自調及び検討会議の意見を基に自ら制作

⇒市としての大きな方針を「多可町小中学校規模適正化基本方針」で示し、市の現状に応じてその都度“多可町地域の学校教育のあり方を考える会”を発足し「多可町学校規模適正化基本計画」を策定。現在第 2 期の計画が進行中。

小中一貫教育を 3 パターンで研究中。

施設老朽化、1 学年 1~2 学級しか確保できない等の現状から、学校の統廃合を前提で検討を行い、どのように統廃合するのか、どういった教育をするのかという方針を策定している。

施設のあり方については、各地区個別でその都度検討している。